

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	備後圏域の玄関口にふさわしい市街地環境の整備															
計画の期間	平成 3 1 年度 ~ 令和 0 5 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		○		
交付対象	福山市															
計画の目標	備後圏域の中核都市である福山市の都心部に位置する三之丸町において，備後圏域の玄関口にふさわしい市街地環境の整備を図り，“働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前”の実現をめざすもの。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		10,934	A	10,934	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		2017年度		2023年度
1	三之丸町内における流動客数（平日）を22,999人／日（2017年度）から31,500人／日（2023年度）に増加させる。			
	三之丸町内における流動客数（平日）を測定する。（三之丸町内 6 地点の合計）	22999人／日	人／日	31500人／日
2	三之丸町内における流動客数（休日）を28,721人／日（2017年度）から36,000人／日（2023年度）に増加させる。			
	三之丸町内における流動客数（休日）を測定する。（三之丸町内 6 地点の合計）	28721人／日	人／日	36000人／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	福山市	間接	株式会社ト モテツセブ ン,穴吹興 産株式会社 ,株式会社 キョーエイ ネクスト	-	-	三之丸町地区優良建築物 等整備事業	住宅・商業等 0.5ha	福山市	■	■	■	■	■	10,934	1.22	-	
											小計						10,934			
											合計						10,934			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
主管課にて評価書を作成し、関係部署に確認を行うことで評価を行う。	2025年（令和7年）3月
	公表の方法
	市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	当該事業地の東側に面した歩道の流動客数は、増加が見られた。これは、民間事業者による特徴あるテナント誘致など、備後圏の玄関口である福山駅前にながさきの施設の整備に取り組んだ成果と考えられる。 駅前広場から敷地西側の三之丸町地区につながる公共用通路の整備により人の流れに変化が見られ、公共用通路に接続する道路の流動客数が増加している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	三之丸町周辺エリアを含めた福山駅周辺では地価は上昇傾向にあり、当該事業をはじめとした福山駅周辺デザイン計画に位置付ける取組の効果が徐々に現れていると考えられる。 参考：三之丸町地価公示価格 2019年 186千円 / m ² → 2024年 215千円 / m ²
○特記事項（今後の方針等）	
今後は、敷地内の広場や周辺道路などを活用した官民連携によるエリアマネジメントの実施などにより、福山駅前再生ビジョンに掲げる「働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前」の実現に向け、引き続きエリア価値の向上に取り組んでいく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	三之丸町地区流動客数（平日）		
	最 終 目標値	31500人 / 日	目標値は新型コロナウイルス感染症の蔓延（以下、「コロナ禍」という。）を想定していない2019年度に設定しており、コロナ禍以降、リモートワークの普及やオンラインサービスの利用増加など、ライフスタイルが大きく変化し、市全体でまちを歩く人が減少している。そのような状況であっても、本事業において、備後圏域の特色を活かしたテナント誘致や公共用通路の整備による回遊性の向上などのエリア価値を高める取組を行った結果、現況値として設定した2017年度の流動客数を上回っている。
	最 終 実績値	24036人 / 日	
2	三之丸町地区流動客数（休日）		
	最 終 目標値	36000人 / 日	目標値は新型コロナウイルス感染症の蔓延（以下、「コロナ禍」という。）を想定していない2019年度に設定しており、コロナ禍以降、リモートワークの普及やオンラインサービスの利用増加など、ライフスタイルが大きく変化し、市全体でまちを歩く人が減少している。そのような状況であっても、本事業において、備後圏域の特色を活かしたテナント誘致や公共用通路の整備による回遊性の向上などのエリア価値を高める取組を行った結果、現況値として設定した2017年度の流動客数と同程度に回復している。
	最 終 実績値	26255人 / 日	